

人の“凸凹”が愛おしい

Q 愛読書・影響を受けた本は？
 「私の個人主義」(夏目漱石)。
 「自分と相手、お互いの個性は尊重し合うのが当然である」という一節がシンプルですが好きです。人は孤独な生き物というのが私の根底にあり、だからこそ人と分かり合えた時、共有、共感の感動が大きく、また違っていて当然という前提なので人とのずれや違いを楽しめるのだと思います。

と、座右の銘、印象に残る恩師は？
 中学校の恩師からの言葉「自分が正しいと思ったことをやりなさい」です。
 10代の頃は正しいことをやるって当然でしょ、と軽く思っていました。20代では会社で求められること、自分が正しいと思うことのギャップを感じ、苦しむこともありましたが、今では正しき自分が見つけた道、どうしてもやり抜きたいこと、と捉えています。

職場の紹介を音更町の教育支援センターで不登校支援を行っています。私たちセンターのスタッフは資格を問わず、教育分野の職歴や子育て経験のある9人が在籍し、そのうち2人が入るといふソフト制で運営しています。
 私たちの役割です。その意味では様々な経歴や背景、趣味、特技、個性を持った地域の大人が子どもたちの支援をしていくことも一つの在り方だと考えています。
 また、私自身がHSPの気質があります。一見、弱みと思われそうなのその気質が職場では強みとなっています。
 私は自分の気質をオープンにしているの、保護者から子どもとの氣質で相談されることもあります。周りの心の機微に敏感なので、子どもの対応にも役立っています。このように、私たちのおおのの性格、興味・関心、氣質の凸凹全てが生かされている職場です。

Q 仕事に就いたきっかけは？
 結婚・出産のあと、31歳でNPOに参画しました。小学校高学年の外国語の授業が導入される頃で、地域ボランティアのコーディネーターを始めました。それに加え放課後子ども教室、プログラミング学習、教育支援センター、放課後等デイサービスなど活動の幅を広げました。

Q 私の仕事術は？
 私不登校支援では、最終的には子どもが社会で自立して生きていけるように、そのサポートが私たちの役割です。
 また、私自身がHSPの気質があります。一見、弱みと思われそうなのその気質が職場では強みとなっています。
 私は自分の気質をオープンにしているの、保護者から子どもとの氣質で相談されることもあります。周りの心の機微に敏感なので、子どもの対応にも役立っています。このように、私たちのおおのの性格、興味・関心、氣質の凸凹全てが生かされている職場です。

Q マイブーム・趣味は？
 ライフワーク的にコミュニケーションづくりをしています。おとなの学び場「とかち熱中中学校」の運営や「十勝キャリアデザインネットワーク」の会長をしています。
 熱中中学校では全国から様々なビジネス分野のプロをお呼びして授業を開催しています。授業がきっかけで新しく興味を持つことも多く、最近では「やさしい日本語」「エフエックチュエーション」などです。
 キャリアデザインネットワークでは女性が仕事、子育ても含めたそれぞれの人生、キャリアについて学んだり励まし合ったりしています。ここでは心理的に安心、安定し、自己開示ができ、発散できることが私にとって大切なことです。
 また、しゃべるのが好きでポッドキャスト「トモエ」を配信しています。毎日更新で、既に1200日を超えました。続けていく中でしゃべりのテンポ、考えを言語化する力や人の話を聞き出す力などが成長したなって感じています。
 Q 子どもたちに一言！
 学校に行かない子の中には罪悪感を持っている子も多々います。でも、どうか自分を否定しないでください。
 どうか自分を、社会を信じてください。
 次回は住吉聡・七飯町教委生涯学習推進アドバイザーです。



No.72



NPO教育支援協会北海道
 白石 友柄 専務理事

【しらいしともえ】
 小樽商科大商学部社会情報学科卒。NPO教育支援協会北海道専務理事。合同会社manasobi代表。(一社)北海道熱中機構理事。十勝キャリアデザインネットワーク会長。
 昭和50年生まれ、48歳。室蘭市生まれ、札幌育ち、十勝在住。

「夢は何？夢を持とう」と
 夢は何か？夢を持とう」と
 夢は何か？夢を持とう」と

次回は住吉聡・七飯町教委生涯学習推進アドバイザーです。

吉本芸人バツカンロールでの講演



講演会での集合写真

